

我が国酪農の生乳生産量の減少に鑑み、経営離脱農家の資産の有効活用や新規就農者の確保、将来にわたって持続可能な経営体の創出、後継牛の地域内生産、後継牛育成のための広域預託等を推進し、生産基盤が脆弱な地域の生産体制の強化を図る。

<内容>

<イメージ>

(1) 担い手確保推進対策

生産者団体等が生産農家や経営離脱農家等において研修を行い、研修生が農業技術・経営ノウハウを習得した上で、資産や技術を継承する取組を支援します。

(補助率:定額、1/2)

(2) 新事業体創出支援対策

既存の経営体の協業化を支援します。また、農場取得等を通じ、新たな担い手を受け入れる取組を支援します。

(補助率:定額、1/2)

(3) 後継牛バンク事業

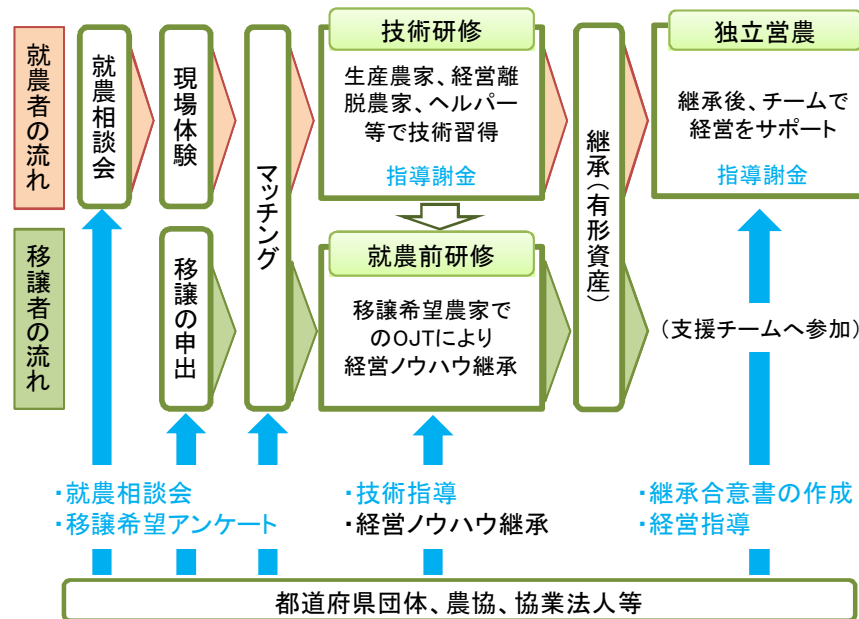
地域で後継牛を持続的に生産する取組に対し、元本となる初妊牛の導入を支援します。

(補助率:1/2、上限27.5万円/頭)

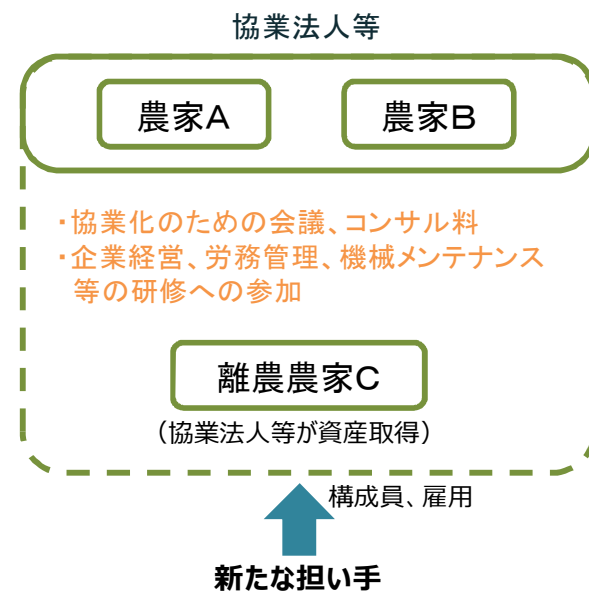
(4) 広域預託支援事業

後継牛の広域預託に対し、奨励金を交付します。
(上限6.9万円/頭)

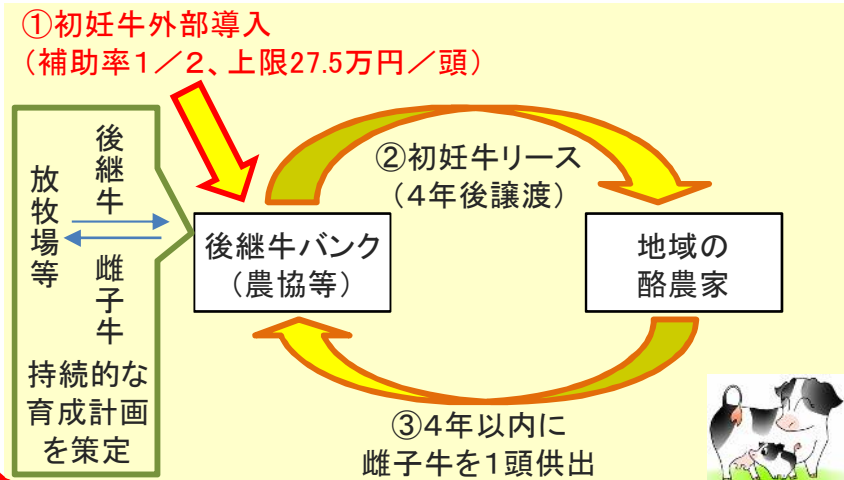
(1) 担い手確保



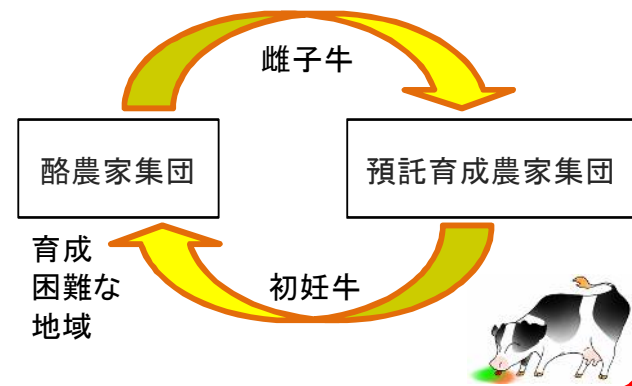
(2) 新事業体創出



(3) 後継牛バンク



(4) 広域預託支援



<事業の流れ>

農畜産業振興機構 → 民間団体 → 民間団体
(事業実施主体) (取組主体)